

広告デザイン専門学校2022年度後期シラバス

広告デザイン科1年次・ビジュアルデザイン科

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午前
授業科目	キャリアガイダンス (1)						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎			教室	3F教室			
授業形態	社会人としての知見を広める講義と演習。コミュニケーション実践			科目系統	一般科目			
授業目標	観点	1	2	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	社会を知り社会と自身との繋がりを知る。自己の生き方と職業への知見を広めるとともに、進路に関する発達課題を主体的に達成する能力を養い、自己の人生設計のもとに進路を選択・実現し、卒業後の生活において職業的自己実現を図ることができるよう総合的に探索と考察を継続する。							
授業計画・方法	担当講師が毎回テーマを定め、講義やオリエンテーションを進行する。 また、職業に対する認識を高め、オリエンテーションの進行度に応じて進路相談を行う場合もある。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	キャリアガイダンスイントロ							
2	自己実現と社会における役割 / 目標達成シートの説明					目標達成シートの作成		
3	技術力と職能的能力 / 創造性 / 感覚と感性							
4	お金の流れと税金について / 保証と安定							
5	挑戦・克服 / 目標達成シートの作成							
6	管理能力 / 自律と独立							
7	挑戦・克服 / 目標達成シートの作成					目標達成シートの見直し		
8	管理能力 / 自律と独立 / 目標実践シートの作成							
9	ライフスタイル / ライフスタイルシートの作成							
10	奉仕・貢献 / 社会と政治・行政 / ディスカッション							
11	就活について / 5年後の私 (中期的ビジョン)							
12								
13								
14								
15								
16								
教科書	クリ活							
参考書	テーマに応じ、参考資料を適時配布。							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						3	
具体的な方法	受講姿勢=60% 理解度=20% 提出内容=20%							
備考	メッセージ、オフィスアワー 2年課程である専修学校は、4年課程の大学とは進路や就活時に行う活動・あり方自体が異なるため、情報に惑わされず、社会の現実と真摯に向き合い、自身に適した進路を理解すること。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス										
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	火午前・木午後		
授業科目	ビジュアルデザイン1						単位数	2		
担当教員	岩田和樹			教室	3F教室					
授業形態	実習授業（適時講義）			科目系統	実践科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	わたしが担当する課題だけでなく、1年次前期課題の多くは「基礎」を身につける「習作」であり、作品と言える段階のものではない。後期は「基礎」を活かす「応用基礎」の課題が多くなる。後期課題を通し、基礎+応用基礎をしっかり身につけて欲しい。									
授業計画・方法	課題A) ビジュアルデザインクラスの1年次「修了制作」課題。 課題B) 文字と形を「タイポグラフィ基礎課題」を通して学ぶ。各課題内容を通し「クリエイティブと、デザイナーの役割」を正しく認識し、その専門性に対する技術を身につける。									
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示				
1	科目「VD1」課題B) のガイダンス、オリエンテーション 課題B) グリッドデザインシステム									
2	課題B) グリッドデザインシステム 資料収集・サムネイルスケッチ									
3	課題B) 資料収集・サムネイルスケッチ									
4	課題B) ラフ、デザインカンパ									
5	課題B) DTP									
6	課題B) DTP									
7	課題B) DTP 作品提出									
8	科目「VD1」課題A) のガイダンス、オリエンテーション 課題A) 資料収集・サムネイルスケッチ									
9	課題A) 資料収集・サムネイルスケッチ									
10	課題A) 資料収集・サムネイルスケッチ、ラフ、デザインカンパ									
11	課題A) ラフ、デザインカンパ									
12	課題A) デザインカンパ 講評会									
13	課題A) DTP									
14	課題A) DTP									
15	課題A) DTP									
16	予備週									
教科書	特になし									
参考書	ここ数年の各種デザイン年鑑									
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査							4		
具体的な方法	課題A=60% 課題B=40% ※課題A、B共に出席率・受講姿勢を含む。									
備考	メッセージ、オフィスアワー 今年度のテーマとしている、デザイナーとしてのワークフローを意識的に定着させること。作品状態はワークフローに従い小まめにチェックするが、出席率が下がる場合、本人の制作物であることが証明できない。極力、授業時間を有効に使い制作すること。									

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	火午後 木午前
授業科目	マーケティングデザイン						単位数	2
担当教員	安藤誠一郎			教室	4F教室			
授業形態	講義・演習・実習			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	商品、商戦、商空間、商環境。商業におけるデザイナーの仕事は、市場や人の動きをつかみ何のためにデザインするのかを理解する事である。必要とされるデザインをするには、目的や必要性について深く考え明解に意図されていなければならない。誰に？何を？どうして？いつどこで？ブランディングから販売促進、広告戦略まで、人と社会とのコミュニケーションをデザインする。							
授業計画・方法	商業を取り巻くコトとモノを創造するデザインワーク。目的、必要性、コンセプト、切り口、メッセージ、表現、展開。あらゆる可能性を考えながら媒体表現までをトータルデザインする。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	第1週：価値の創造 店舗のマーケティング戦略/商業におけるデザインを考える					企業調査		
2	第2週：ブランディングデザイン (発案と企画)					市場調査		
3	第3週：集客と導線・販売促進 (発案と企画 アイデアスケッチ)					企画戦略		
4	第4週：広告戦略とメディア表現 (発案と企画 アイデアスケッチ)					表現手法の研究		
5	第5週：メディアミックス展開案 (制作)							
6	第6週：メディアミックス展開案 (制作)							
7	第7週：メディアミックス展開案 (制作とアウトプット)							
8	第8週：オリエンテーションとテーマ設定					社会問題調査		
9	第9週：テーマの掘り下げと問題提起					市場調査・企画戦略		
10	第10週：コンセプトワーク					市場調査・企画戦略		
11	第11週：ラフスケッチ							
12	第12週：ラフスケッチ/制作							
13	第13週：制作 (中間発表)					表現手法の研究		
14	第14週：制作							
15	第15週：制作							
16	第16週：制作/制作展準備							
教科書	都度必要な資料を配布する。							
参考書	適宜指示する。							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率、プロセス、プレゼンテーションツール、制作物の平均点で評価する。							
備考	メッセージ、オフィスアワー 他の授業と比較すれば時間数は多いが、内容的にはタイトなスケジュールとなるため次回授業までの調査、自主学習、授業の準備を欠かさないこと。すべての課題に1~2回のプレゼンテーションがあります。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス											
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	月曜午前			
授業科目	DTP1 (ビジュアルデザイン専攻)						単位数	1			
担当教員	太田米香			教室	3F教室						
授業形態	演習 & 実習			科目系統	応用科目						
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	実際のチラシ等の模倣を中心に制作し、前期のDTPの授業で習得した技術がどのように活かされるのかを実感する。										
授業計画・方法	実際に流通するチラシのデザインを模倣することで技術を習得し、また紙面の構成、デザインの感覚を身につける。										
回/セクション	授業内容・方法						授業外学習指示				
1	「旅行チラシ」模倣制作/説明&演習&制作										
2	「旅行チラシ」模倣制作/演習&制作										
3	「旅行チラシ」模倣制作/演習&制作										
4	「旅行チラシ」模倣制作 提出/演習&制作										
5	「雑誌1ページ」模倣制作/説明&演習&制作										
6	「雑誌1ページ」模倣制作 提出/演習&制作										
7	「雑誌広告」A5デザイン制作/説明&演習&制作										
8	「雑誌広告」A5デザイン制作 提出/演習&制作										
9	「展覧会チラシ」ハガキ両面デザイン制作/説明&制作										
10	「展覧会チラシ」A4両面デザイン制作/説明&制作										
11	「展覧会チラシ」A4両面デザイン制作 提出/制作										
12	「ビザ店チラシの作り替え」A4両面デザイン制作/説明&制作										
13	「ビザ店チラシの作り替え」A4両面デザイン制作/制作										
14	「ビザ店チラシの作り替え」A4両面デザイン制作/制作										
15	「ビザ店チラシの作り替え」A4両面デザイン制作 提出/制作										
16											
教科書	特になし										
参考書	既存チラシ										
評価基準・方法	1.筆記試験						2.口述試験		3.レポート審査		4.作品・技術審査
具体的な方法	授業に対する姿勢、データ確認、提出制作物等										
備考	メッセージ、オフィスアワー										
備考	課題ごとにプリントを制作します。出力よろしくお願いたします。										

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	月曜午前
授業科目	DTP1 (マーケティングデザイン専攻)						単位数	1
担当教員	福元紀子			教室	4F教室			
授業形態	演習 & 実習			科目系統	応用科目			
授業目標	観点	1	2	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	前半：原稿の指示通りの印刷物を作れるようにする。 後半：自分で考えて印刷物を作れるようにする。							
授業計画・方法	実際にあるパターンの印刷物を参考に、とくに必要なIllustratorとPhotoshopの使い方を身につける。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	チラシ作成 1 (テキスト入力、下絵、ケイ線、レイヤー、ガイド)							
2	チラシ作成 2 (写真切り、写真配置、マスク、全体のレイアウト調整)							
3	チラシ作成 3 (文字校正、交差法の活用)							
4	カタログ修正 1							
5	カタログ修正 2							
6	カタログ修正 3							
7	ポストカード 1 (年賀状またはクリスマスカードの作成。トンボ～文字校正)					切手代63円が必要です		
8	ポストカード 2							
9	ポストカード 3							
10	不動産チラシ 制作 1 (下絵スキャン、間取り図トレース)							
11	不動産チラシ 制作 2							
12	不動産チラシ 制作 3							
13	名刺作成 1							
14	名刺作成 2							
15	名刺作成 3							
16								
教科書	特になし							
参考書	講師が作成したプリント等で補う。							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)、課題提出(30%)、受講態度(30%)、意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー 遅刻をしない。損するのは自分自身です。わからないことは遠慮せずに質問してください。 ※進行具合で内容が前後する場合があります							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午後
授業科目	WEB1						単位数	1
担当教員	酒井陽一			教室	3F教室			
授業形態	講義と実習 (制作、発表)			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	1	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	<p>WEBデザイナーとして必要とされるスキルの理解。 WEBデザインに関わる上で覚えておきたい用語を学習。 仕事としてのWEB制作の実態や体験談を通して、商業デザインへの興味を深めてもらいたい。</p>							
授業計画・方法	「WEBデザイナーとは？」を理解する。アプリケーションの知識とスキルのマスター。 自分の制作したデザインを発表し、他人の発表を見る事で、より客観的にデザインを見つめる。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	前半) WEBサイトとは(1) (ドメイン、サーバー、WEBサイトについての概要) 後半) アプリケーションの紹介 Adobe XD XDを使ったプロトタイプの作成(1)							
2	前半) WEBサイトとは(2) (HTML、ブラウザ、CMSについての概要) 後半) アプリケーションの紹介 Adobe Dreamweaver XDを使ったプロトタイプの作成(2)							
3	前半) WEBサイトのデザイン(1) (DTPとWEBデザインの考え方の違い) 後半) 解像度の理解 Adobe Illustrator Photoshop							
4	前半) HTMLの基本とWEBサイトの構造 後半) 簡単なHTML体験							
5	WEBテンプレートを使ったプロトタイプの作成(1)							
6	WEBテンプレートを使ったプロトタイプの作成(2)							
7	課題 与えられたテーマに応えるWEBサイトデザイン 企画書制作							
8	課題 与えられたテーマに応えるWEBサイトデザイン デザイン制作(1)							
9	課題 与えられたテーマに応えるWEBサイトデザイン デザイン制作(2)							
10	WEB制作会社の業務体験(1) テキスト・バナーの入れ替え作業							
11	WEB制作会社の業務体験(2) 他者のデザインへの指示・指摘							
12	WEB制作会社の業務体験(3) 簡単なプログラムの構築							
13	課題 高度なWEBサイトのデザインとプロトタイプの作成(1)							
14	課題 高度なWEBサイトのデザインとプロトタイプの作成(2)							
15	課題 高度なWEBサイトのデザインとプロトタイプの作成(3)							
16								
教科書	都度、関連WEBサイトのURLを提示し、それに沿った内容で授業を進めます。							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率 (40%) 制作物に対する評価 (30%) WEBに関する探究心 (20%) 受講態度 (10%)							
備考	<p>メッセージ、オフィスアワー</p> <p>紙媒体とWEBサイトの違いを理解してください。 使う側の意識から、作る側の意識へ、楽しみながら変化していく時間にできれば、と考えています。</p>							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス									
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択		曜日時限	水曜午後
授業科目	WEB1						単位数	1	
担当教員	金田貴之			教室	4F教室				
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目				
授業目標	観点	1	2	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	webデザインのソフトを扱う技術だけを学ぶのではなく、webデザインの幅広い知識とWebの考え方を学んでほしい。								
授業計画・方法	Webデザインを幅広く学ぶための講義とアプリケーション(Photoshop、XD)のWebデザインに最低限必要なツールの使い方を解説していきます。								
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示			
1	webデザインの基礎								
2	web UX								
3	XD基本操作 vol.1					講師が用意したXDファイルをベースにする			
4	XD基本操作 vol.2					コンポーネント概念			
5	XD制作実習 (コーポレートサイト)					4ページを想定(トップ×下層2×お問い合わせ)			
6	XD制作実習 (コーポレートサイト)					続き			
7	XD制作実習 (コーポレートサイト)					続き			
8	XD制作実習 (コーポレートサイト)					続き			
9	XD制作実習 (コーポレートサイト)					課題提出			
10	photoshop基本操作 vol.1					講師が用意したPSDファイルをベースにする			
11	photoshop制作実習：バナー作成					前半：リスティングバナー講義 後半：講師が用意したお題			
12	photoshop制作実習：バナー作成					続き			
13	photoshop制作実習：バナー作成					続き			
14	photoshop制作実習：バナー作成					続き			
15	photoshop制作実習：バナー作成					課題提出			
16									
教科書	講師が作成した資料で補う。								
参考書	Webデザインの基本、UX+理論で作るWebデザイン、Webマーケティング								
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4		
具体的な方法	出席率(40%)受講態度(40%)作品の評価(10%)意欲(10%)の総合評価								
備考	メッセージ、オフィスアワー 内容が幅広く難しい内容のため時間数に対してタイトな授業構成のため、遅刻しないこと。								

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択	曜日時限	火曜午後
授業科目	ロジカルシンキング						単位数	1
担当教員	佐伯陽介			教室	3F教室			
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目			
授業目標	観点	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	物事を論理的に考える能力を養い、広い視点や視野と深い洞察力を身につける。							
授業計画・方法	論理的思考を段階的に学び、実習を通じて様々な課題を考える。また読解や文章力を身につける。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	論理的思考のすすめ、論理的思考の学び方、言葉の意味を考える。							
2	具体的と具体例、目的と目標							
3	文章構成法							
4	論理の立て方：三段論法、帰納法、演繹補							
5	理論の立て方：適切な根拠							
6	論理の立て方：仮説形成							
7	MECE、ロジックツリー							
8	抽象的思考							
9	批判的思考							
10	情報の考え方							
11	マッピング1							
12	マッピング2							
13	アイデア発想法							
14	問題解決							
15	プロセスを考える							
16	論理的なアイデア							
教科書	毎回教材を配布する							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席(30%)受講態度(25%)受講意欲(25%)課題(20%)で総合的に評価する。							
備考	メッセージ、オフィスアワー ロジカルシンキングは日々の積み重ねで身につきます。段階的に身につけるための内容なので、講義に積極的に参加し、自発的に取り組むこと。講義の後、疑問などがあれば遠慮せず質問してください。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス									
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択		曜日時限	月曜午後
授業科目	デザイン演習（ビジュアルデザイン専攻） ※マーケティングデザイン専攻の学生は2年前期						単位数	1	
担当教員	松井伸之			教室	3F教室				
授業形態	講義・実習			科目系統	応用科目				
授業目標	観点	1	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	デザイン・コミュニケーションについて広義に捉え、ミクロ・マクロな視点で考察します。 私たちが共に幸せに生きて行くためにはどうすればよいか？現実社会で、私のデザイン思考・デザイン表現をどのように活かして行けば良いか？などを模索します。この授業では、柔軟で多角的な視点を持ち、自分を活かしながら建設的な問題解決が出来るようになることを目標とします。								
授業計画・方法	コミュニケーションの主役である私自身を、様々な講義や実験を通じ知らせることからはじまり、私自身を社会で活かす方法を、自分好みのブランドを企画することから学んでいきます。								
回/セクション	授業内容・方法				授業外学習指示				
1	オリエンテーション								
2	デザインとはコミュニケーションとは？.1								
3	私とHAPPY DESIGN.1								
4	私とHAPPY DESIGN.2								
5	私とHAPPY DESIGN.3								
6	私のトリセツをデザインする.1								
7	私のトリセツをデザインする.2								
8	私のトリセツをデザインする.3								
9	CI/ブランディングとは？								
10	ブチ・ブランディング.1								
11	ブチ・ブランディング.2								
12	ブチ・ブランディング.3								
13	ブチ・ブランディング.4								
14	ブチ・ブランディング.5								
15	プレゼンテーション								
16									
教科書	講師作成のプリント 講師持参の資料								
参考書	特になし								
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4		
具体的な方法	出席率（30%） 講義態度（30%） 意欲（30%） 作品評価（10%）								
備考	メッセージ、オフィスアワー リラックスして参加してください。自分探しをしたい人には特にオススメです。								

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス									
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体○	選択		曜日時限	月曜午後
授業科目	コミュニケーションデザイン（マーケティングデザイン専攻） ※ビジュアルデザイン専攻の学生は2年前期						単位数	1	
担当教員	森俊博			教室	4F教室				
授業形態	講義&実習			科目系統	応用科目				
授業目標	観点	2	3	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	人の心を動かし、世の中を動かすための「アイデア」を考える基礎を学びます。商品や市場の課題の整理、ターゲットの設定、コンセプトやWhat to say（何を伝えるべきか）の考え方、インサイトの見つけ方などを、様々なメディアを想定した企画実習で身につけていきます。								
授業計画・方法	講義や授業内でのワークショップ、実習は事前に提出した課題を授業内で講評および企画やアイデアについて個別指導を行います。								
回/セクション	授業内容・方法				授業外学習指示				
1	広告の仕事について 講義/実習								
2	What to say（何を言うか）と How to say（どう言うか）①/講義&課題講評				事前にコピーの課題提出				
3	How to sayの飛躍/講義&課題講評 タグラインからキャッチコピーを考える/実習				事前にコピーの課題提出				
4	タグラインからキャッチコピーを考える/講評 キャッチコピーからビジュアルを考える/実習				事前にコピーの課題提出				
5	キャッチコピーからビジュアルを考える/講評 コピーを軸にしたグラフィック広告企画/講義&実習 課題オリエンテーション				授業までに課題提出（ラフまたはサムネイル）				
6	コピーを軸にしたグラフィック広告企画/実習 企画チェック①				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
7	コピーを軸にしたグラフィック広告企画/実習 企画チェック②				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
8	コピーを軸にしたグラフィック広告企画/プレゼンテーション&講評 話題化させるOOH広告または新聞広告の企画/講義&実習 課題オリエンテーション				授業内でプレゼンテーション予定 ※OOH=アウト・オブ・ホームメディア(屋外広告)				
9	話題化させるOOH広告または新聞広告の企画/実習 企画チェック①				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
10	話題化させるOOH広告または新聞広告の企画/実習 企画チェック②				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
11	話題化させるOOH広告または新聞広告の企画/プレゼンテーション&講評 コミュニケーション・デザインとは/講義&最終課題オリエンテーション				授業内でプレゼンテーション				
12	最終課題 商品コミュニケーション企画/実習 企画チェック①				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
13	最終課題 商品コミュニケーション企画/実習 企画チェック②				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
14	最終課題 商品コミュニケーション企画/実習 企画チェック③				授業内で個別指導のため各自で企画進行				
15	最終課題 商品コミュニケーション企画/実習 プレゼンテーション&講評				授業内でプレゼンテーション				
16									
教科書	講師が作成したプリント等。								
参考書	特になし								
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4		
具体的な方法	出席率(20%)提出物の評価(50%)受講態度と意欲(30%)の総合評価								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	事前に提出する課題は必ず提出のこと。授業および課題の進行具合により授業内容は変更する可能性があります。								

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	木曜午前
授業科目	イラストレーション						単位数	1
担当教員	川下晴子			教室	3F教室			
授業形態	講義と実技			科目系統	応用科目			
授業目標	観点	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	「描くことで伝える」を目標に、スケッチや画材使用練習を経て、表現力や伝達能力を更に磨いてゆきましょう。							
授業計画・方法	モノの形や構造を観察しスケッチする実技と、講義による解説での知識を合わせることで「描画」する経験値を得てゆきます。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	植物の描き方①スケッチ					たくさん描いて、たくさん見て、描く感覚と感性を磨こう！		
2	植物の描き方②着彩							
3	動物の描き方① スケッチの手順と描画のコツ							
4	動物の描き方② 校外でのスケッチによる実践。							
5	動植物を用いたカードイラスト製作① 作品製作。							
6	動植物を用いたカードイラスト製作② 作品完成、講評会。							
7	キャラクターデザイン① デザインの概念を学び、実践します。							
8	キャラクターデザイン② 作品製作。							
9	キャラクターデザイン③ 作品完成、講評会。							
10	似顔絵① 描く為のコツや知識を学び、実践します。							
11	似顔絵② 実践、作品完成、講評会。							
12	イラストで語る説明作品① つくりかた、育て方、旅行マップやメニューなど、イラストを用いて「説明」できる作品を製作します。							
13	イラストで語る説明作品②							
14	イラストで語る説明作品③							
15	イラストで語る説明作品④ 講評							
16								
教科書	講師の用意したプリントを配布します。							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)、受講態度(30%)、課題提出(20%)、意欲(20%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	楽しく描くことを続けて、技術の向上を目指しましょう。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	木曜午前
授業科目	プロトタイピング						単位数	1
担当教員	萩原大輔			教室	4F教室			
授業形態	講義と実習(講義、演習、実習、グループワークなど)			科目系統	応用科目			
授業目標	観点	1 2 3 4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	価値のない様々なモノに対して、付加価値の付け方を理解するとともに、デザインシンキングの組み立て方を学ぶ							
授業計画・方法	アイディアの発案から企画の立案、制作からプロモーション、さらには販売まで制作物の全てのマネジメントを行う。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	アイスペイク (グループワークショップ)							
2	ブレインストーミング → リサーチ							
3	フィールドワーク (栄/新栄周辺)							
4	アイディアディスカッション							
5	企画書制作							
6	中間講評会 (バリデーション)							
7	企画書ブラッシュアップ							
8	プロトタイプ制作①							
9	プロトタイプ制作②							
10	プロトタイプ制作③							
11	プロモーション考察 (ブランディング)							
12	プロモーションツール制作①							
13	プロモーションツール制作②							
14	プロモーションツール制作③							
15	最終講評会							
16								
教科書	講師が作成したプリント等で補う。(googleスライド)							
参考書	Make: Japan Books全般							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー 自身の長所や趣味趣向が色濃く反映され、様々なジャンルの応用力を必要とするカリキュラムになります。各々の特性を120%発揮できるような授業にしていきたいため、平日頃から好奇心と探究心のスイッチをONにして生活してください。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス									
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○		曜日時限	金曜午前
授業科目	編集デザイン						単位数	1	
担当教員	福安聡一郎			教室	3F教室				
授業形態	講義と実習(講義、演習、実習など)			科目系統	実践科目				
授業目標	観点	1 2 3 4		1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	編集デザイン(文字組・レイアウト等)の基礎をもとに、情報の伝え方やビジュアルデザインによる視覚的な魅せ方を意識できることを目指す。								
授業計画・方法	デザインアプリケーション(Illustrator、Photoshop)を用いて各課題を解説と共に制作。制作時には質疑応答、修正指示等を経て知識を深める。								
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示			
1	【WEBバナー広告/計2コマ】 誌面サイズの決まっていないWEBバナー広告(LP)の編集レイアウト、デザインを制作します。 ◇内容を理解してデザイン表現をする練習です。								
2	◇提供した素材を元に、レイアウト・デザイン表現を行います。 ★評価基準：ターゲットを把握し、見せる優先順位を理解したうえでデザイン表現ができていますか								
3	【特集ページ/計3コマ】 グリッドで情報をまとめたページとは別に、遊び心のある誌面を制作します。								
4	◇提供した素材を元に、基本レイアウトを組んでいきます。/1コマ ◇制作ページを自分でレイアウト・デザイン変更をします。/2コマ								
5	★評価基準：バツと開いた瞬間「気になる！」と思わせるビジュアル表現ができていますか								
6	【パンフレットページ/計3コマ】 提供した素材を元に、見た目よく情報をまとめた企業パンフレットのページデザインを制作します。								
7	◇バラついた情報を均等にまとめる練習です。 ◇提供した素材を元に、レイアウト・デザイン表現を行います。 ★評価基準：情報をビジュアル的にまとめるアイデア力(クオリティ・柔軟性など)								
8	(次回課題の制作説明)					次回授業課題の制作イメージをしておく			
9									
10									
11	【編集デザイン/計8コマ】 自分で内容(web記事流用可)・全体構成・テイストを決めてページを作っていきます。 扉、写真メインの特集、記事、など/趣味紹介冊子6P以上								
12	◇資料集め・全体構成/1コマ ◇制作/4コマ(見開き1Pにつき1コマ×3)								
13	◇見直し・修正/3コマ ◇発表/1コマ								
14	★評価基準：誌面を作る情報集めとまとめ方、紹介の仕方(切り口)、計画的に進められたか(最終的なクオリティ)								
15									
16	(最終課題の発表後は、後期制作物の見直し/最終提出)								
教科書	特になし								
参考書	特になし								
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4		
具体的な方法	出席率(30%)受講態度(30%)作品の評価(40%)の総合評価								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	不明点は分からないまま進めず確認すること。課題はステップアップ形式なので各課題期限までの完成提出をすること。								

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	金曜午前
授業科目	映像編集						単位数	1
担当教員	河合信城			教室	4F教室			
授業形態	講義と実習（講義、演習、実習、グループワークなど）			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	1	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	映像の企画から編集までを実制作を通じてベースとなる技術を身につける。							
授業計画・方法	企画→撮影→編集と映像を作り上げていく作業を繰り返すことで理解を深めていく。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	オリエンテーション 課題発表・企画実習① サイネージ							
2	企画実習②（素材作成） サイネージ							
3	企画実習③（素材作成）発表 サイネージ							
4	課題発表・企画実習④ TVCM							
5	企画実習⑤発表 TVCM							
6	撮影基礎講義 撮影実習① TVCM							
7	撮影実習② TVCM							
8	BOVA企画実習① ウェブ動画							
9	BOVA企画実習② ウェブ動画							
10	BOVA企画実習③ ウェブ動画							
11	BOVA撮影オリエン ウェブ動画							
12	BOVA撮影実習① ウェブ動画							
13	BOVA撮影実習② ウェブ動画							
14	BOVA編集実習① ウェブ動画							
15	BOVA編集実習② ウェブ動画							
16	作品発表							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー 浅野先生の授業と連動して授業を進行していきます。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス											
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	金曜午後			
授業科目	エディトリアルデザイン						単位数	1			
担当教員	中山雅人			教室	3F教室						
授業形態	講義と実習（講義、演習、実習、グループワークなど）			科目系統	基礎科目						
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	本・書籍の基礎知識を学びつつ、Indesignの操作方法を覚え、最終的には自身の考えたコンテンツの小冊子を制作する。とにかく多くのデザインの引き出しを持つことが大切なので、さまざまなデザインをどんどん実践しながら学んで行く。また実習だけでなく、実際に現場で使えるテクニックや知識、業界の仕組み、裏話なども交えて解説し、理解を深める。雑誌・本を作る楽しさを少しでも知ってもらいたいです。										
授業計画・方法	本・書籍の基礎知識を学びつつ、Indesignの操作方法を覚え、最終的には自身の考えたコンテンツの小冊子を制作する。										
回/セクション	授業内容・方法						授業外学習指示				
1	Indesign基礎(1) + Indesignとは？ 雑誌・書籍の特性、名称、広告との違いなどの講義										
2	Indesign基礎(2) + 業界で実際“使える”ショートカットキーやテクニックなどの講義										
3	Indesign操作：レイアウト（既存レイアウトの問題点を見つけ、改善してみる）										
4	Indesign応用：レイアウト（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
5	Indesign応用：レイアウト（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
6	Indesign応用：レイアウト（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
7	Indesign応用：レイアウト（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
8	Indesign応用：レイアウト（紙面の構成要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
9	Indesign応用：表紙レイアウト（文字要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
10	Indesign応用：表紙レイアウト（文字要素を整理し、ラフを描き、実際にデザインする）										
11	Indesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作 〈構成アイデア出し・ラフ描き〉										
12	Indesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作										
13	Indesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作										
14	Indesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作										
15	Indesign実習制作：プロフィール冊子（4P）制作→提出										
16	Indesign実習制作：プロフィール冊子 品評会										
教科書	講師が作成したプリント等で補う。										
参考書	特になし										
評価基準・方法	1.筆記試験						2.口述試験		3.レポート審査	4.作品・技術審査	4
具体的な方法	出席率(30%)、作品の評価(40%)、受講態度・意欲(30%)の総合評価										
備考	メッセージ、オフィスアワー										
備考	金曜日の授業後は時間をとれるので、質問等どんどん受け付けます！楽しくデザインしていきましょう！										

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス											
授業年度	2022	学年	1	グループ	全体	選択○	曜日時限	金曜午後			
授業科目	モーショングラフィックス						単位数	1			
担当教員	浅野 禎之			教室	4F教室						
授業形態	講義と実習			科目系統	基礎科目						
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	3~4本の課題制作を通して、映像制作に必要な知識と技術の基礎を習得する。										
授業計画・方法	映像制作に必須のアプリケーション(Premiere、After Effects)の操作方法と、グラフィックアプリケーションとの連携を、制作を通じて学ぶ。										
回/セクション	授業内容・方法						授業外学習指示				
1	Premiere / After Effects 基礎①										
2	Premiere / After Effects 基礎②										
3	Premiere / After Effects 基礎③										
4	実習1-1 (デジタルサイネージ)										
5	実習1-2 (デジタルサイネージ)										
6	実習1-3 (デジタルサイネージ)										
7	実習1-4 (デジタルサイネージ)										
8	実習2-1 (TV-CM) ※素材は撮影またはグラフィック素材を作成										
9	実習2-2 (TV-CM) ※素材は撮影またはグラフィック素材を作成										
10	実習2-3 (TV-CM) ※素材は撮影またはグラフィック素材を作成										
11	BOVA作品制作①										
12	BOVA作品制作②										
13	BOVA作品制作③										
14	BOVA作品制作④										
15	BOVA作品制作⑤										
16	作品発表 / 講評										
教科書	授業内容に応じて作成するプリント等で行う。										
参考書	特になし										
評価基準・方法	1.筆記試験						2.口述試験		3.レポート審査	4.作品・技術審査	4
具体的な方法	出席率、作品の評価、受講態度の総合評価。										
備考	メッセージ、オフィスアワー										
備考	まだ2023年のBOVAのスケジュールが発表されておりませんので、それにより変更になる可能性があります。										

広告デザイン科2年次

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス										
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	水曜午前		
授業科目	キャリアガイダンス2						単位数	1		
担当教員	岩田和樹			教室	2F教室					
授業形態	実習授業と講義			科目系統	一般科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	人間は理想と希望を持ち、目標とすべきだが、それは常に「現実」を理解した上で行うからこそ意味がある。残り半年で学生時間が終わること前提に「現実」と向き合い理解し、その上に理想と希望を積み上げる学びを行う。									
授業計画・方法	1年次後期に行なった「Cガイダンス」同様、受動的授業ではなく、アクティブ・ラーニング（能動型授業）を中心に展開したい。また「相手がいて、自分がある」という当たり前だが不足を感じる点にも触れる内容を心掛けたい。									
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示				
1	後期科目「Cガイダンス2」のガイダンス									
2	項目1-1									
3	項目1-2 ※個別面談									
4	項目1-3 ※個別面談									
5	項目1-4 ※個別面談									
6	項目1-5 ※個別面談									
7	予備日									
8	項目2-1 ※個別面談									
9	項目2-2 ※個別面談									
10	項目2-3 ※個別面談									
11	予備日									
12										
13										
14										
15										
16										
教科書	特になし									
参考書	必要な場合、授業時に適時配布									
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査							1 2 3		
具体的な方法	項目1+項目2=50% 受講参加率=50%									
備考	メッセージ、オフィスアワー 今年度は既に2年次前期から、積極的にポートフォリオを作成し、就活を行なっている学生が多いと報告を受けている。このシラバス原稿作成段階で、10月時点で多くの学生の就職先が決まり、就活を終えているかもしれない。そのため、10月時点での状態により、受講内容を大きく変更する可能性があることを了承願いたい。									

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス										
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月本午前・火金午後		
授業科目	ビジュアルデザイン2						単位数	4		
担当教員	岩田和樹			教室	A303教室					
授業形態	実習授業（適時講義）			科目系統	実践科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	自身が選択した後期主軸科目として、理想的なワークフローに徹し、2年課程のデザイン専修学校を卒業する上での、ふさわしい作品内容・技術を最低限の目標と定め、少しでも前に挑む姿勢を学びの中で見出してもらいたい。									
授業計画・方法	課題A) ビジュアルデザインクラスの「卒業制作」課題。「デザイナー」という専門職分野を学んだ学生としての集大成を目指す。 課題B) 2022年2月に行われる本校年度制作展の広報媒体（ポスター・DM等）を、学生が自ら制作する。									
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示				
1	科目「VD2」課題B)のガイダンス、オリエンテーション 課題B) 資料収集・サムネイルスケッチ									
2	科目「VD2」課題A)のガイダンス、オリエンテーション 課題A・B) 資料収集・サムネイルスケッチ									
3	課題A・B) 資料収集・サムネイルスケッチ									
4	課題A) 資料収集・サムネイルスケッチ 課題B) ラフ、デザインカンパ									
5	課題A) 資料収集・サムネイルスケッチ 課題B) DTP									
6	課題B) DTP									
7	課題B) DTP 作品提出									
8	課題A) ラフ、デザインカンパ									
9	課題A) ラフ、デザインカンパ									
10	課題A) DTP									
11	課題A) DTP									
12	課題A) DTP									
13	課題A) DTP 年明け講評会									
14	課題A) DTP									
15	課題A) DTP									
16	予備日									
教科書	特になし									
参考書	ここ数年の各種デザイン年鑑									
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査							4		
具体的な方法	課題A=80% 課題B=20% ※課題A、B共に出席率・受講姿勢を含む。									
備考	メッセージ、オフィスアワー 今年度のテーマとしている、デザイナーとしてのワークフローを意識的に定着させること。作品状態はワークフローに従い小まめにチェックするが、出席率が下がる場合、本人の制作物であることが証明できない。極力、授業時間を有効に使い制作すること。									

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	月木午前火金午後
授業科目	マーケティングデザイン2						単位数	4
担当教員	安藤誠一郎			教室	2F教室			
授業形態	実習			科目系統	専門科目			
授業目標	観点	2	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	広告デザインを学ぶ2年間の集大成として、広告企画制作を通して広告戦略と制作実習の成果を表す。							
授業計画・方法	企画立案とデザイン実技（メディアミックス）							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	第1週：第1課題（商品化）オリエンテーション／市場と企画テーマに対する調査					市場調査		
2	第2週：企画テーマに対する調査/コンセプトワーク(コンセプトシート提出)					価値発見		
3	第3週：発案→企画書作成→企画発表					企画戦略		
4	第4週：価値の見える化					表現手法の研究		
5	第5週：媒体表現（制作）							
6	第6週：媒体表現（制作）							
7	第7週：モックアップ（制作）→制作発表							
8	第8週：第2課題（社会問題）オリエンテーション／現状と企画テーマに対する調査					現状調査		
9	第9週：企画テーマに対する調査/コンセプトワーク(コンセプトシート提出)					問題の掘り下げ		
10	第10週：発案→企画書作成→企画発表					企画戦略		
11	第11週：伝達方法の追求					表現手法の研究		
12	第12週：媒体表現（制作）							
13	第13週：媒体表現（制作）							
14	第14週：媒体表現（制作）→制作発表							
15	第15週：制作物のブラッシュアップ							
16	第16週：制作物のブラッシュアップ							
教科書	特になし							
参考書	進行により、その都度紹介する。							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率、プロセス、プレゼンテーションツール、制作物の平均点で評価する。							
備考	メッセージ、オフィスアワー 他の授業と比較すれば時間数は多いが、内容的にはタイトなスケジュールとなるため次回授業までの調査、自主学習、授業の準備を欠かさないこと。すべての課題に1～2回のプレゼンテーションがあります。作品の善し悪しも重要だが、制作行程の順守が最も重要です。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス									
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体○	選択		曜日時限	月曜午後
授業科目	DTP2 (VDクラス)						単位数	1	
担当教員	太田米香			教室	A303教室				
授業形態	演習 & 実習			科目系統	実践科目				
授業目標	観点	1 2 3 4		1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	1年生で学んだDTPの基礎から応用へ。正しいデータを制作の習得。								
授業計画・方法	課題ごとに、制作（テスト）→学生同士のデータ確認（講義）のカタチで行います。								
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示			
1	「地図」制作物/説明&講義&制作								
2	「地図」制作物/テスト&採点&修正								
3	「ハガキサイズ」制作物/説明&講義&制作								
4	「ハガキサイズ」制作物/制作								
5	「ハガキサイズ」制作物/テスト&採点&修正								
6	「A4サイズ」制作物/説明&講義&制作								
7	「A4サイズ」制作物/制作								
8	「A4サイズ」制作物/テスト&採点&修正								
9	「A4サイズ」制作物/説明&講義&制作								
10	「A4サイズ」制作物/制作								
11	「A4サイズ」制作物/テスト&採点&修正								
12	ネット印刷を利用して「名刺」を制作（特殊印刷）/説明&制作								
13	ネット印刷を利用して「名刺」を制作（特殊印刷）/制作								
14	ネット印刷を利用して「名刺」を制作（特殊印刷）/制作								
15	ネット印刷を利用して「名刺」を制作（特殊印刷）/テスト&採点&修正								
16									
教科書	特になし								
参考書	既存チラシ								
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4		
具体的な方法	授業の姿勢、テスト点数								
備考	メッセージ、オフィスアワー								
備考	課題ごとにプリントを制作します。出力よろしくお願いたします。								

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	月曜午後
授業科目	DTP2 (MDクラス)						単位数	1
担当教員	福元紀子			教室	2F教室			
授業形態	演習 & 実習			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	1	2	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	1年生で習ったことを復習しつつ、入稿しても恥ずかしくないデータに仕上げる。							
授業計画・方法	実際によくあるパターンの印刷物を参考に、とくに必要なIllustratorとPhotoshopの使い方を身につける。 課題ごとに完成カンパとデータの提出（これをテストとします）							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 1							
2	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 2							
3	広デのオープンキャンパスのチラシを作成 3							
4	パンフレット制作 1					参考になりそうなお歳暮やギフトカタログを観察しておくとうよいでしょう		
5	パンフレット制作 2							
6	パンフレット制作 3							
7	ポストカード制作 1					切手代63円が必要です		
8	ポストカード制作 2							
9	ポストカード制作 3							
10	○○○○MAP制作 1 自分なりにまとめた地図を制作							
11	○○○○MAP制作 2							
12	○○○○MAP制作 3							
13	名刺制作							
14	カレンダー制作 1							
15	カレンダー制作 2							
16								
教科書	特になし							
参考書	講師が作成したプリント等で補う。							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)、課題提出(30%)、受講態度(30%)、意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー 遅刻をしない。損するのは自分自身です。わからないことは遠慮せずに質問してください。 ※進行具合で内容が前後する場合があります							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体○	選択	曜日時限	金曜午前
授業科目	広告プランニング						単位数	1
担当教員	山内重雄			教室	2F教室			
授業形態	座学			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2 3 4 5(発想力)		1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	企画を形にできるビジネス型クリエイターになる。							
授業計画・方法	豊かで自由な発想力を育み、複数のプランを同時進行で考えて、それを形にするための方法を考える。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	My Publicity (マイ・パブリシティ) の説明=My ADの発展形として、メディアを通じて多くの人に情報を伝えて影響を与える。							
2	課題=商品開発 (1) この世にない新しい商品を考える。その商品を説明する。 My Publicity					2回～16回の毎週課題 My Publicity (マイ・パブリシティ) を提出。 My ADの発展形。基本B4サイズ		
3	課題=商品開発 (2) 新しい商品をどのように知らせるか? その方法を考える。 My Publicity							
4	課題=商品開発 (3) 新しい商品の販売方法を考える。広告も考える。 My Publicity							
5	キャラクター企画=何らかの目的のために活用する新キャラクターを発案する(1) 自由課題の途中経過報告 My Publicity							
6	キャラクター企画=何らかの目的のために活用する新キャラクターを発案する(2) 自由課題の途中経過報告 My Publicity							
7	自由課題の講評会=10の企画の中からすすめるものを決める (複数可) My Publicity							
8	自由課題の企画書作成 自由課題の途中経過報告 My Publicity							
9	自由課題の企画書作成 自由課題の途中経過報告 (企画書) My Publicity							
10	自由課題の企画書作成 自由課題の途中経過報告 (企画書) My Publicity							
11	2023年企画=来年の企画 (イベント、キャンペーン、など) を考える 自由課題プレゼンテーション My Publicity							
12	2023年企画 自由課題プレゼンテーション My Publicity							
13	2023年企画 自由課題プレゼンテーション My Publicity							
14	2023年企画のプレゼンテーション 自由課題評価 My Publicity							
15	自由課題を再構築 My Publicity							
16	自由課題最終案をまとめる・個人評価 My Publicityまとめ							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						3 4	
具体的な方法	発想力と企画内容と提案方法							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	特になし							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス											
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	火曜午前			
授業科目	ブランディングデザイン						単位数	1			
担当教員	渡辺恭良			教室	A303教室						
授業形態	講義と実習（課題制作）			科目系統	専門科目						
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他	
	実際の仕事に近い内容を目指し、情報収集～企画立案～実制作まで自分のアイデアをプレゼン出来る事を目標とします。 クライアントの商品やサービスを理解した上で、何もないところから発想して企画提案できる市場分析力+発想力+表現力を身につける。										
授業計画・方法	アイテムを各自決め、情報収集～分析 販促企画立案～サムネイル製作～カンパ実制作～企画書完成までの中で総合力を養う。										
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示					
1	10/04 課題内容オリエン。 サンプル参照しつつ、アイテム選択し情報収集へ。					webでも街でもリサーチし、資料収集					
2	10/11 決定した広告アイテムの情報収集～販促企画のアイデアを考察。					競合も情報収集					
3	10/18 情報分析～販促企画のアイデアを考察。					競合も分析研究					
4	10/25 分析状況～アイデアの中間チェック。					収集情報を整理					
5	11/1 上記の情報を元に販促アイデアとアイテム提案を出来るだけ多く考える。					とにかく数多くのアイデアを！					
6	11/8 販促のアイデアとアイテムのサムネイル&コンセプト&調査資料等提出。					数多くのアイテムを考える。最低4案以上！					
7	11/15 前回の提出のサムネイル&コンセプト&調査資料をチェックし個別に返却。					必要に応じて、再検討～修正					
8	11/22 再検討後、企画内容の方向性と広告&アイテム決定へ					不足情報や資料は随時収集し内容に活かす					
9	11/29 決定した内容に応じて、広告&アイテムのカンパ実制作へ					不足情報や資料は随時収集し内容に活かす					
10	12/6 各自の内容に応じて、個別に修正指示～企画書実制作					スケジュールに沿って制作					
11	12/13 各自の内容に応じて、個別に修正指示～企画書実制作					スケジュールに沿って制作					
12	12/20 決定したアイテムの情報分析～アイデアを出来るだけ考えて、サムネイル&調査資料等提出。					競合製品も研究し、サムネイル案を多数					
13	1/10 上記までの全てを纏め、企画書 仮提出（カンパ等もカラー出力）					締切を守る					
14	1/17 修正したものの随時チェック～アイテムのカンパ修正チェック					スケジュールに沿って制作					
15	1/24 修正したものの随時チェック～アイテムのカンパ修正チェック					スケジュールに沿って制作					
16	1/31 確認～最終完成形提出へ					締切を守る					
教科書	特になし 講師が作成したプリントや作例を参考にして										
参考書	広告年鑑、コピー年鑑等、書籍等あらゆる資料										
評価基準・方法	1.筆記試験						2.口述試験		3.レポート審査		4.作品・技術審査
具体的な方法	出席率(20%)・受講態度と意欲(20%)・作品の評価(60%)の総合評価										
備考	メッセージ、オフィスアワー 考える事やる事が多いので集中力を切らさずに！ 一年時の授業でのノウハウを盛り込み、それを（遥かに）超えるレベルのアイデアとデザインで企画を纏めてください。										

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	火曜午前
授業科目	セールスプロモーション						単位数	1
担当教員	戸谷吉希			教室	2F教室			
授業形態	講義と実習（講義、演習、実習、グループワークなど）			科目系統	専門科目			
授業目標	観点	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	ブランドが届くように、売れるように生活者へ翻訳する〈デザインの翻訳家〉 講義の目的：①自分の引き出しをつくる・拡げる②作品ポートフォリオに置いて効果的な制作物③企業にあるブランドパーパスの大切さ④伝え方、言い方を覚える⑤いくつもの答えを見つける							
授業計画・方法	企業ブランドを踏まえて、自分のアイデアを出し、他人のアイデアも学び、次に活かし続けていく。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	「プレゼントキャンペーンのグッズ」をアイデアする①							
2	「プレゼントキャンペーンのグッズ」をアイデアする②							
3	「実写化」をアイデアする①							
4	「実写化」をアイデアする②							
5	「ビジュアル&コピー」をアイデアする①							
6	「ビジュアル&コピー」をアイデアする②							
7	「名画・偉人画像」をアイデアする①							
8	「名画・偉人画像」をアイデアする②							
9	「タレントキャスティング」をアイデアする①							
10	「タレントキャスティング」をアイデアする②							
11	「広告媒体」をアイデアする①							
12	「広告媒体」をアイデアする②							
13	「周年」をアイデアする①							
14	「周年」をアイデアする②							
15	「固定概念を壊す」をアイデアする①							
16	「固定概念を壊す」をアイデアする②							
教科書	特になし							
参考書	特になし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー 質問は随時受け付けます。なるべく実践に近い形でおこないます。時間外学習は基本なしにします。（短時間でのアイデア出しメイン）							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	木曜午後
授業科目	表現技法						単位数	1
担当教員	星野公作			教室	A303教室			
授業形態	演習と実習(演習、実習)			科目系統	実践科目			
授業目標	観点	2	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	情報のことを文字や数字と思っている人が多い。しかし世の中の大半の情報は「文字と数字」以外で喚起されている。人がグラフィックを見たときの情報とはなにか。日常にある様々な表情や質感などを再発見し、グラフィックとして昇華させる。							
授業計画・方法	日常にありふれた表情を素材として「グラフィックメッセージ」「本の装丁」「演劇ポスター」の、全3課題を制作する							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成(A3)制作1(10.6)							
2	【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成(A3)制作2(10.13)							
3	【第1課題】文字を中心としたグラフィック作成(A3)制作3(10.20)							
4	講評会 (10.27)							
5	【第2課題】本の装丁(A5)制作1(11.10)							
6	【第2課題】本の装丁(A5)制作2(11.17)							
7	【第2課題】本の装丁(A5)制作3(11.24)							
8	【第2課題】本の装丁(A5)制作4(12.1)							
9	講評会 (12.8)							
10	【第3課題】演劇ポスター(B3)制作1(12.15)							
11	【第3課題】演劇ポスター(B3)制作2(12.22)							
12	【第3課題】演劇ポスター(B3)制作3(1.12)							
13	【第3課題】演劇ポスター(B3)制作4(1.19)							
14	【第3課題】演劇ポスター(B3)制作5(1.26)							
15	講評会(2.2)							
16								
教科書	なし							
参考書	なし							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	出席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	何かしらのアナログ表現を取り入れたグラフィックを作成していただきます。							

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス										
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	木曜午後		
授業科目	ソーシャルデザイン						単位数	1		
担当教員	清水夏樹			教室	2F教室					
授業形態	講義・グループディスカッション・実習			科目系統	実践科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	後期の授業では、実際の企業さんとコラボして商品やサービスの開発を目指します。企業さんの課題をヒアリングし、それをソーシャルな視点で解決しましょう！うまく行けば、実際の商品として発売される可能性もありますよ！どんな企業さんかはお楽しみです									
授業計画・方法	企業の代表者さまとディスカッションを繰り返すことで、その企業の持つ課題と社会課題を紐付けながらSDGsの項目のいずれかに立脚した商品や新サービスの開発に取り組みます。4名前後のチームで役割を分担しプロジェクトを進めていくことを予定しています。									
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示				
1	ソーシャルデザインとは？（講義・ワークショップ）チーム分け									
2	企業代表者さんを交えたワークショップで課題抽出									
3	グループディスカッション（グループ）※工場・生産工程の見学（予定）									
4	グループディスカッション（グループ）									
5	商品案まとめ（チェック）									
6	企業さんへのプレゼンテーション（1回目）									
7	修正及びブラッシュアップ									
8	修正及びブラッシュアップ（チェック）									
9	企業さんへのプレゼンテーション（2回目）									
10	デザイン作業・PR戦略立案									
11	デザイン作業・PR戦略立案（チェック）									
12	企業さんへのプレゼンテーション（3回目）									
13	入稿データ作成（チェック）									
14	総括									
15	プロトタイプ完成・企業さんを交えた総括									
16										
教科書	特になし									
参考書	特になし									
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査							4		
具体的な方法	出席率（30%）作品の評価（30%）受講態度（10%）意欲（30%）の総合評価									
備考	メッセージ、オフィスアワー									
	教室の中だけでは体験できない学びを、企業の方々と膝を突き合わせて体験しましょう！将来どんな仕事に就いたとしても意味のあるウォーミングアップになると思います。 ※協働企業さんは1～2社を予定 ※協働企業さんの都合によりスケジュールは多少前後します									

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス										
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	水曜午後		
授業科目	コピーライティング2						単位数	1		
担当教員	大原純子			教室	4F教室					
授業形態	課題制作			科目系統	専門科目					
授業目標	観点	1	2	3	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	マルチメディア、デジタルメディア、販促ツールの特性や役割を考察しながら、いかに伝え、訴求するのかを追究。広告における情報活動について論理的な展開力や実践的なスキルを身に付けます。									
授業計画・方法	初回から3回にわたって、交通広告の特性を学び、エンターテインメントをテーマに展開を立案し、サムネールを制作します。以降は、宣伝計画や表現計画の立案力養成を目的として、メディアミックスにおける表現計画の企画書を作成します。									
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示				
1	交通広告の概要と各媒体について解説します。課題はエンターテインメントをテーマに広告貸切電車の表現案を作成します。									
2	交通広告～クライアントの設定と展開案を立案～									
3	交通広告～表現案とサムネールを制作～									
4	マルチメディアの特性とクロスメディア展開について					ジェンダー、福祉、医療問題等からテーマを選択				
5	メディアミックスの企画立案～クライアントの設定～									
6	メディアミックスの企画立案～宣伝計画の立案～									
7	メディアミックスの企画立案～宣伝計画の立案～									
8	メディアミックスプランに基づき、表現計画のコンセプトを立案。									
9	アイキャッチ、スローガンの作成									
10	各メディアの構成案およびビジュアル作成									
11	各メディアの構成案およびビジュアル作成									
12	各メディアの構成案およびビジュアル作成									
13	企画書作成									
14	企画書作成									
15	企画書総仕上げおよび著作権等、広告業界を取り巻く法規と心得について概説									
16										
教科書	講師が作成したプリント等で補う。									
参考書	特になし。									
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査							4		
具体的な方法	出席率(30%)作品の評価(30%)受講態度(30%)意欲(10%)の総合評価									
備考	メッセージ、オフィスアワー 事前リサーチや、情報リテラシーが重要になってきます。 普段の生活で、ニュースや国際情勢等、あらゆる情報にアンテナをめぐらせてください。									

広告デザイン専門学校 2022年度後期シラバス								
授業年度	2022	学年	2	グループ	全体	選択○	曜日時限	水曜午後
授業科目	ビジュアルマーチャндаイジング（視覚的販売促進）2						単位数	1
担当教員	安藤誠一郎			教室	A303教室			
授業形態	実習			科目系統	専門科目			
授業目標	観点	2	4	1.知識/理解	2.思考/判断	3.関心/意欲	4.技能/表現	5.その他
	ビジュアルマーチャндаイジングとは要約すると商品プレゼンテーションの事です。商業空間において最も重要である顧客に対しての価値提供のプロセスである「販売促進」。販売促進の中でも視覚に訴えかけるビジュアルマーチャндаイジングはビジュアルデザイナーの力が必要とされる。視覚による販売促進のプロセスを知り、表現方法の構築につなげることを目的とする。							
授業計画・方法	商業空間に見られる促進方法の知見を広げ、社会に求められる訴求方法と表現を模索する。							
回/セクション	授業内容・方法					授業外学習指示		
1	セールスプロモーション(SP)とマーチャндаイジング(MD)							
2	販売促進の視覚化と広告の違い（演習）							
3	商品プレゼンテーションの重要性1（講義/演習）					商品プレゼンテーション資料収集		
4	商品プレゼンテーションの重要性2（演習）							
5	POP制作1（制作）							
6	POP制作2（制作）							
7	POP制作3（制作）							
8	ビジュアルプレゼンテーション1（講義/演習）					VPの資料収集		
9	ビジュアルプレゼンテーション2（制作）							
10	ビジュアルプレゼンテーション3（制作）							
11	売り場の銅線とデザイン（講義/演習）					売り場の資料収集		
12	ファサードと店内ディスプレイ（講義）							
13	店舗のビジュアル展開（制作）							
14	店舗のビジュアル展開（制作）							
15	店舗のビジュアル展開（制作）/講評							
16								
教科書	適宜資料を配布							
参考書	講師が用意したデータを鑑賞							
評価基準・方法	1.筆記試験 2.口述試験 3.レポート審査 4.作品・技術審査						4	
具体的な方法	課題への取り組み(40%)作品評価(30%)制作プロセス(30%)の総合評価							
備考	メッセージ、オフィスアワー							
備考	自身の興味や感覚だけに頼らないで、他人とのコミュニケーションの中から情報を汲み取ってください。							